

北陸地区国立4大学によるスケールメリットを生かした

ポストコロナ時代を先導する「北陸産学官金共創システム」による知の好循環と財政基盤の強化

基本 ビジョン

北陸地区の国立4大学と、北陸の多様な企業・諸団体・行政機関等や人材とが
フィジカル・サイバー空間を問わず結合する北陸産学官金共創システムを形成

➡ **知の好循環を拡大** × **構成大学の財政基盤を強化** ↔ 地方創生にも寄与



北陸経済連合会が
コーディネートし
高い実効性を担保



地方（北陸）に立地する国立大学群だからこそ、大学の真の経営力強化には「地方創生」との連動が必要不可欠

取組

「北陸産学官金共創システム」の基幹として、北陸地区国立4大学と北陸経済連合会
及び北陸の企業・諸団体で構成する「北陸未来共創フォーラム」を立ち上げる



3大学
マルチリンク
共創プラット
フォーム

北陸地域のカーボン
ニュートラルを先導

各大学の
産学連携
組織など

各大学の
イノベーション
エコシステムにも反映

既存の成果・
実績も活用

北陸地域において
強みを持つ産業

マテリアル



農林水産業



製造機械・電子部品



ヘルスケア



今後飛躍的な成長
が見込める産業

北陸未来共創フォーラム

取組

「北陸産学官金共創システム」の自走化に向けて、4大学がコアとなり、
大学と行政、企業、及び市民が一体的・相互補完的に支え合う
ファンディングシステム・産業クラスターを構築する



取組

北陸地区国立4大学のリソースや
レガシーを活用し、「北陸産学官金
共創システム」を支える、**ポストコロナ
時代の寵児となる人材を輩出**する



北陸産学官金共創システム

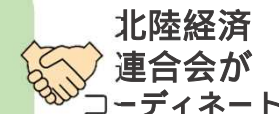
「北陸」というスケールメリットを
これまで以上に深く幅広く生かす

北陸地区国立4大学によるスケールメリットを生かした

ポストコロナ時代を先導する「北陸産学官金共創システム」による知の好循環と財政基盤の強化

北陸産学官金共創システムとは？

北陸地区の国立4大学と、北陸の多様な企業・諸団体・行政機関等や人材とが結合する“**大きなゆりかご**”により新事業・産業、尖った人材を持続的に生み出す



オフライン(フィジカル空間)とオンライン(サイバー空間)のハイブリッドを前提にしたサービスの提供や、コミュニティの形成を強力に進め、ポストコロナ時代を先導！



取組

「北陸産学官金共創システム」の基幹として、北陸地区国立4大学と北陸経済連合会及び北陸の企業・諸団体で構成する「**北陸未来共創フォーラム**」を立ち上げる

フォーラムのスタートアップ経費(人件費・物件費)【補助金活用！】

Action

「北陸産学官金共創システム」の基幹としての北陸未来共創フォーラムの体制構築

北陸の多種多様なプレイヤーが、互いに学びあい、フィードバックしあう「場」の形成

フォーラム参加企業等数

R3	R5
500社	2,000社

取組

「北陸産学官金共創システム」の自走化に向け、4大学がコアとなり、大学と行政、企業、及び市民が一体的・相互補完的に支え合う**ファンディングシステム**を確立し、**産業クラスター**を創出する。

PJのスタートアップ経費(人件費・物件費)【補助金活用！】

Action

大学と企業等の連携による組織的・戦略的な財政基盤増強・資金獲得

北陸地域の産業の強み・成長分野である**マテリアル、製造機械・電子部品、ヘルスケア、農林水産業**の4分野を先行し、研究成果の社会実装・産業化を強力に推進

共同研究等受入金額

R3	R5
3億円	10億円

Action

北陸産学官金共創システムによる地方創生に資する新規産業クラスターの創出

実施する共創事業件数

R3	R5
5件	20件

取組

北陸地区国立4大学のリソースやレガシーを活用し、「北陸産学官金共創システム」を支える、**ポストコロナ時代の寵児となる人材を輩出**する

共創事業のスタートアップ経費(人件費・物件費)【補助金活用！】

Action

4大学の外部ネットワークを共有・活用し、多様な人材が集まる人材育成事業を実施

北陸の多種多様なプレイヤーによる**アイデアソン・ハッカソン、ピッチコンテスト**実施

共創教育事業参加企業数

R3	R5
1,000社	3,000社

Action

4大学のリソースを活用し、ポストコロナ時代の寵児となる人材育成・定着事業の展開

学生、留学生、社会人、大都市圏や海外在住の人材等へ、**教育コンテンツ**を開発・提供

共創教育事業実施件数

R3	R5
30件	100件

北陸地区国立4大学によるスケールメリットを生かした

ポストコロナ時代を先導する「北陸産学官金共創システム」による知の好循環と財政基盤の強化

経営改革ビジョン(北陸産学官金共創システム)実現のための確固たる基盤

北陸地区4大学が有する、北陸産学官金共創システムの実現を担保する“核”となる産学官金共創の成果・実績

2020年に、富山大学・金沢大学・福井大学で「マルチリンク共創プラットフォーム」を創設。医薬品や材料等の開発など、各大学の強みを活かしつつ特定分野の研究を連携して進めている。



2013年以降、北陸地区国立大学の教員等が共同して実施する研究プロジェクトを支援。例えば「IoT社会を支える高信頼性技術とグローバル人材の育成」では、金沢大学のLSI設計、福井大学のFPGA設計、北陸先端科学技術大学院大学のハードウェア設計という強みを連携し企業との共同研究等の外部資金の獲得増や、人材育成に寄与した。



2021年に、経産省「J-NEXUS 産学融合先導モデル拠点創出プログラム」事業の下、北陸先端科学技術大学院大学が2014年から実施してきた産学官金連携マッチングイベントである「Matching HUB」の実績等もベースに、北陸経済連合会と北陸国立4大学、自治体、研究機関、金融機関が参画する「北陸DXアライアンス」を創設し、新製品・新事業への出口支援を強化した。



2012年以降、石川県、金沢大学、金沢工業大学、渋谷工業、津田駒工業、コマツ産機等と連携し、炭素繊維複合材の実用化・産業創出を進め、重要な産業クラスターへの成長を果たした。



2018年から、富山県、富山大学、富山県立大学、富山県薬業連合会等と連携し、「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアム(内閣府：地方大学・地域産業創生交付金交付対象事業)を創設。産学官共同で医薬品分野の研究開発プロジェクトを実施している。



2017年に福井大学では福井県と連携し、文部科学省「地域イノベーション・エコシステム形成プログラム」の採択を受け、ワンチップ型化超小型光学エンジンの事業化を図り、地域企業、大学発ベンチャーと連携し、眼鏡型ディスプレイの革新的デバイスのビジネス展開を進めている。

